

No.	懇話会での意見等	発言者
1	環境影響評価（アセスメント）を行うための必要な事項について	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境や気象など、地域住民と一緒に調査すると、自分が住む地域のことも分かり、ごみ処理場にも関心を持ってやれるのではと思う。</li> </ul>	地域住民
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境影響評価に関する意見交換は、次回も行う予定。</li> </ul>	事務局
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (炉の)方式を決めてから環境影響評価をやるか、緩い状態でやるか決めなければならない。環境影響評価は時間がかかるので、無駄や無理が無いように検討を。</li> </ul>	有識者
2	性能発注と事業方式について	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性能発注と事業方式はどこまで(検討が)進んでいるか。</li> <li>・ 地元の意見要望はいつどこで生かされるのか。民設民営・PFIになったら、今までお願いした意見がゼロになる可能性があるのか。</li> <li>・ (性能発注などの)説明は、こんな方法もあるという受け止めで良いか。炉をどうするかではないですね。</li> <li>・ 地域事情もあると思うが、今の主流というか、こうあるべきという炉の形式はどうか。</li> </ul>	地域住民
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業方式については、組合設立後に施設整備計画に着手し、それと並行してPFI導入可能性調査を行い、その中でPFI事業ができるかが決まる。今はそこまで進んでいない。</li> <li>・ いただいたご要望は承知しており、それらを踏まえて施設整備検討委員会等で具体的に検討し、その際も意見をいただく機会はある。</li> <li>・ 説明したのは手順の説明と捉えていただいて良いです。これまでの主流のやり方と、今は目指すものを達成するにはどんなやり方があるかを検討する形(性能発注やDBO方式)になっていることを説明させていただいた。</li> <li>・ 現在の予定では、施設整備計画の策定が令和5年度から、PFI導入可能性調査は令和6年度頃である。</li> </ul>	事務局
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PFIは、民間の考えだけで進める方式ではなく、皆さんの意見を聞き、施設整備基本計画で出されたプランに基づいて、「こういう性能のものを作ってください」と組合が示し、民間会社が資金を調達して設計をする形。協議の経過に応える形になるので、心配しなくて良いと思う。</li> <li>・ DBOは今決める話ではない。施設を作るときに、「どう契約をするか」、「運営も含めた契約にするか」という話である。</li> <li>・ ごみ処理施設を作ったが、「公害防止条件に合わない」ではまずいので、(要求する性能を満たす)性能発注でないと思う。</li> <li>・ 施設を作る時、「これは絶対欲しい(性能)」は仕様書・要求水準書を通じて契約書に入るが、その下準備するのがこの会。組合が要求水準書を作るとき、地元の意見やコンセプトを反映した施設にしようと思っても、決まっていなくて入れられない。</li> <li>・ 資源循環のため灰の資源化を条件として、業者に提案させ、総合的に評価し、炉の形式を決める方法が多いと思う。全体的には、震災以降、ごみのエネルギーを徹底的に使うこととして、灰溶融をしない方式も結構採用されている。</li> </ul>	有識者

3	地域振興コンセプトについて	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (地域で主催している) 上厨川のまちづくりを考える会でも(キーワードなどの) 検討を進めているが、それとは別に、懇話会は懇話会として考えていくのか。</li> <li>・ 土淵地域としては新駅、西回りバイパス、上厨川の跡地の3点セットでお願いしてきた。</li> <li>・ 新しい施設のネーミングはないのか。</li> <li>・ (広域の) 施設整備の範囲はどこまでなのか。予算的にどのような施設なら整備してもらえるのか。</li> <li>・ ふれあいエリアとエネルギー利活用エリアで分ける必要があるのか。</li> <li>・ 少年野球場移設の話があるが、ソフトボールも兼用してできる。3面取れば県内の大会ができる。ナイター設備や400台位の駐車場整備も、市が責任をもってできるかなど。</li> </ul>	地域住民
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 懇話会はエネルギーの側面から検討したが、上厨川のまちづくりを考える会でもエネルギー利活用の話し合いが行われていることから、考える会と調整していった方が良いと思う。</li> <li>・ 懇話会の地域キーワードは、こういう意見が出ていることは押さえておきながら、考える会と連動し、エネルギー利活用エリアとふれあいエリア、双方にまたがる部分も調整していきたい。</li> <li>・ ネーミングについては考えてみたい。皆さんに親しんでもらえて、それで喜んでいただけるというのが何よりである。</li> <li>・ エネルギー利活用施設はどのようなものが良いか、皆様からの地域キーワードをまとめた上で、こんな感じという方向性を考えていきたい。また、アイデアが様々あるので、面積的に(すべてが)収まるかという点があり、その上で、市町の財政的に対応できるかという点も出てくる。</li> <li>・ エリアを分けずにすべてをエネルギー利活用エリアという話は8市町のOKが必要でハードルが高い。</li> </ul>	事務局
4	施設見学(案)について	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目指している規模や地域の環境など、当てはまるのはどちらなのか。</li> <li>・ 付帯設備でこだわりや特徴があるところはどこか。</li> <li>・ 候補を絞って、見学先の案を出してほしい。</li> </ul>	地域住民
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理的には長野と高座のクリーンセンターは類似している。</li> <li>・ 船橋市や、ふじみ野・三芳町では、施設を建て、(食堂や歩行浴プール等で地域振興に応じて) いるという意味で、こだわっているかと思う。</li> </ul>	日環センター
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学の日程については、農作業との調整も必要である。</li> <li>・ 候補を絞った形で提案したい。</li> </ul>	事務局